

ONE BRAND

vol. 46

【夏の子どもと犬の特集】

愛犬も
食べられる

愛犬のための

愛犬と一緒に

畑の野菜と、
手作りうつつわで、
ごはんを食べよう。

◆ONE LOVE INTERVIEW

山本“KID”徳郁

[総合格闘家]



【夏の子どもと犬の特集】

愛犬も
食べられる

畑の野菜と、



愛犬のための

今回の特集では「食」をテーマに、子どもたちが愛犬の手作りごはんにチャレンジします。せっかくのチャレンジですからとことんこだわって、野菜の収穫やうつわ作りにもトライ。自分で作るから楽しくって美味しいってこと、体全部で体験してきました！手作りごはんのアドバイスも必見です。

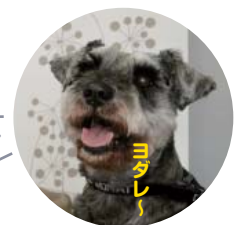
手作りうつわで、



愛犬と一緒に

ごはんを食べよう。

撮影：晴山順平



オイシソ〜

ヨダシ〜

栄養いっぱいの
愛犬のゴハンのために
元気な野菜に
あいに行こう！



無農薬農園で野菜を収穫
驚きと発見がいっぱい！

「美味しいゴハンを愛犬に作ろう（ついでに自分たちも食べちゃおう）」と始まった食いしん坊な今回の企画。協力してくれたのは元気いっぱい姉弟、葵ちゃんと智哉くんです。

まずは材料の調達からスタート。「犬だって人間だって美味しい野菜が食べたいよね」ということで向かった先は近所のスーパーでも八百屋さんでもなく、なんと千葉県木更津市にある広い農園！こちら「農業公園ぼんぼ村」ではシーズンごとに旬の野菜が収穫できる「収穫体験」を行っていて、申し込めば誰でも楽しむことができるのです。ファミリートの皆さんにとっても人気があるそう。

農園に到着するとぼんぼ村の三上さんが笑顔でお出迎え。早速、軍手をはめて野菜の収穫に取りかかります。畑には無農薬でのびのび育った野菜がたくさん。大根、ブロッコリー、ズッキーニ、キャベツ、ニンジン……、太陽がぴかぴか輝く空の下で元気いっぱいに葉を広げています。「ブロッコリーは茎のところをハサミでチョキンと切つてね」「大根は両手で真上に引っっこ抜くんだよ」と三上さんの言葉に大きくな



真剣な眼差し。大きなハサミやシャベルを上手に使ってどんどん収穫。



大きなブロッコリーを見つけた葵ちゃん。
お留守番している愛犬も喜んでくれるかな？



もうすぐ3歳になる智哉くん。ヨイショと抱えているのは立派に育ったズッキーニ。



この日収穫した野菜たち。「重いー！」と言いつつも満足げなふたりなのでした。

犬が食べられる野菜、食べられない野菜

「ニンジン、大根、キャベツ、レタスなど、今回収穫した野菜は、多くの犬が食べても大丈夫。聞いたことのない野菜はアレルギーを起こす可能性もあるので注意して。長ネギ、玉ねぎ、ニンニクは中毒があるので絶対NG。ジャガイモの芽も取り除くこと」(小方獣医師)



スーパーに並ぶ野菜とは見た目の力強さも香りも段違い。



完全な無農薬栽培。雑草が生い茂るなかからニンジンの葉っぱを見つけて引っっこ抜く。



わいわいキヤーキヤー、あっという間の収穫体験でした。

葉っぱの陰からカエルやバッタが飛び出してきたり、採れたての野菜をかじってみたり、驚きや新しい発見がいっぱい。もちろん、美味しいような野菜もたっぷり収穫できて大満足。みんな食べるのが待ちきれません！

ずっと汗をいっぱいかいて大活躍の葵ちゃん。智哉くんも、野菜をカゴまで何度も運んでお手伝いをしてくれました。

粘土をこねたら
何ができるの？
こねこね、くるくる、
わっくわく！



椅子に座らせてもらってゴキゲンなモジゾー。



大人も子どもも楽しめる陶芸。みんなでワイワイがおすすめ。

この日はミニチュアシナウザーのモジゾー（オス8歳）と一緒に陶芸教室へ。「愛犬専用のフードボウルとお皿を作るう！」というアイデアなんです。お邪魔したのは、陶芸教室「むさしのクラフトワークス」。事前に犬連れの許可を得れば犬も一緒に室内に入れます。陶芸を教えてくれるのは陶芸作家の比護先生。粘土をこねたり、穴を開けたり、広げたり。少しずつ、だんだんとうつわの形になってきて、わくわく楽しい！モジゾーはというと、作業を静かに見学中。とってもお利口さん。飾り付けは素焼きのスタンプで。モジゾーの名前を作ったり、星や花の模様をたくさん押しました。フードボウルにはモジゾーの足型をギュッと押して、かわいい肉球の跡もつけたんです。「どんなお皿になるかな」「どんなお料理が合うかな」と、完成が待ち遠しくてたまらないふたりでした。

犬を隣に、陶芸体験 愛犬専用のお皿作り



葉っぱや星やハート、教室オリジナルの手作りスタンプはいろいろな模様があって楽しい。



フードボウル担当の葵ちゃん。側面にはアルファベットのスタンプで「MOJIZO」。



フードボウルの真ん中に足跡をギュッと押して。モジゾー専用のしるしです。



ピザ生地を薄く広げていきます。破れないように丸く広げるのがムズかしい！



オリーブオイルとはちみつ、レモン果汁でドレッシング作り。「僕、頑張ってるよ！」



ときにはおふざけも。みんなでお喋りも楽しい、にぎやかな料理シーンとなりました。



南村さんが代表を務めるキッチンドッグでは手作り食のサポートアイテムも販売。

農園で収穫した元気いっぱい野菜を使って、さあ、いよいよ美味しいゴハン作りのスタート！ 犬の手作りゴハンを多彩にプロデュースするキッチンドッグのオーナー・南村さんが先生になつてお料理を教えてください。

メニューは春野菜のピザと、鶏ささみを使ったサラダの2品。犬用と人用に使う具材は同じで、犬も食べられるドレッシングとマヨネーズを作ります。

人用には、塩・こしょうとはちみつで味つけ。「じゃがいもとブロッコリーはゆでる野菜だよ。ニンジンや大根、キャベツ、リーフレタスは生のままで。新鮮だからそのまま食べるのがきつと一番美味しいよ」「野菜はちぎるか、細い千切りにして、ワンちゃんが食べやすいようにうんと小さくしてあげてね」「野菜だけだとタンパク質が不足しちゃうから、ゆでたささみも一緒にしてあげるの」と南村さんから手作りゴハンのポイントをいろいろ教えてもらいました。

ピザの生地を薄く伸ばしたり、包丁で野菜をカットしたり、ドレッシングを混ぜ合わせたり、葵ちゃんも智哉くんも台所仕事がサマになってきた。美味しいゴハンが出来るまでもうすぐ。モジゾーもきつとお腹を空かせて待つてよ。

愛犬もお待ちかね！
初めての料理にドキドキ

●取材協力：キッチンドッグ 神奈川県横浜市中区新山下3-2-5 BARK FARM内 ☎045-621-8838 <http://www.kitchendog.jp/>



愛犬のために
自分で作るから、
真剣、楽しい！

みんなで一緒に「ハイ、チーズ!」。
モジゾーがなんだか人間みたい!?



みんなにっこり、人も犬も幸せランチタイム!



野菜いっぱいのご飯をべろりと平らげてくれました。

オープンからピザが焼ける香ばしい匂いがしてきました。鶏ささみと野菜のサラダもよく混ぜたら、さあ、お料理の完成です。大きいお皿とグラスをテーブルに用意して、モジゾーの分は陶芸教室で作ったお皿とフードボウルに盛りつけよう。そうそう、待ちに待った手作りうつわの完成品が教室から送られてきたんです。フードボウルはピンクに、お皿は濃いブルーに先生が色づけをしてくれました。とっても素敵な仕上がりになりふたりとも大満足! ランチヨンマットを敷いてテーブルセッティングも完了。さあ、みんな揃っていただきます! 野菜はシャキシャキ、ピザはもちもち。モジゾーがたくさん食べてくれるかちょっぴり心配だったけど、ピザもサラダも残さずきれいに食べてくれました。初めての手作りごはんは笑顔いっぱいのハッピーなランチタイムとなって大成功。頑張った出来立てごはん、愛犬も家族もみんな食べてるともって美味しいって実感です。

**新鮮野菜を犬にも人にも
同じものを食べる楽しさ!**

愛犬のための美味しいごはん作り

「バランスのいい手作りごはんは犬と飼い主に多くの喜びがあります。2歳までは、アレルギーが出やすいので体質と材料の相性をよく見てあげましょう。肥満気味の犬は野菜でかさ増しすることでダイエット効果も期待できます」



小方宗次先生
獣医師、獣医学修士。
ヤマザキ学園大学動物
看護学部准教授



愛情と栄養たっぷりの手作りごはんが完成!



笑い声いっぱいの時間。智哉くん、うつわの仕上がりをチェック?





犬の殺処分をなくすためにできること 〈ONE LOVE プロジェクト〉

年間 44,783 頭以上の犬が殺処分されています。

『ONE BRAND』マガジンでは、この現実をより多くの人に知ってもらい、
そして変えていくために、情報をお届けしています。

サポーター
募集中

パートナー企業
募集中

パートナーショップ
募集中

ONE LOVEプロジェクト サポートパートナー



(株)ALOLO / (株)ノア動物病院 / chi^ku / 川崎駅前・戸塚駅前スキンコスメクリニック / orange wonder market (株) /
(株)キリカン洋行 / (株)ワンズデリ / 中央アニマルクリニック / ライフネットワーク (株) / (株)アイコンズ /
(株)岡インターナショナル / Plaza-D / SOPRA GINZA / DADWAY / Meek.feuille / ペットメディカルサポート (株) / (株)アセット・ブレインズ

元保護犬・りん坊から、たくさんの幸せをもらっています！

犬を飼いたいヒトと新しい家族を探す犬との出会いをサポートするウェブサイト「HOGO犬 ONEマッチング」。
今回は、2011年8月に新しい家族・深澤さん一家と巡り合った、りん坊（雑種、10歳♂）をご紹介します！

シニア犬でも新しい環境に慣れることができる

放浪していたところを、動物愛護団体アニマルレフュージ関西（以下、ARK）に保護されていた雑種の、りん坊。2011年8月に埼玉の深澤家に引き取られました。きっかけは、次女・啓子さんがウェブ上でりん坊の写真を見て一目惚れしたこと。りん坊は体重20kg近い大型犬で、当時、年齢も推定10歳を超えていました。「一般的に大型犬やシニア犬は敬遠されがちですね。でも、だからこそ私が引き取って幸せにし

てあげたかったです。それに、シニア犬だから新しい環境に慣れにくいということとは決まてないんですよ」と啓子さん。実際、りん坊は深澤家での生活にすぐに慣れてくれたそうです。今春、前庭疾患※を発症しましたが、現在は回復。少し後遺症が残ってはいるものの、食欲旺盛で、毎日元気に過ごしています。

健康状態や性格を知った上で自分に合った犬が選べる！

家族全員が動物好きで、飼養放棄された

犬を動物病院から引き取ったり、野良猫を保護したりして、常に動物と一緒に暮らしてきた深澤さん一家。現在、家には7頭の猫たちも同居中！りん坊をはじめ、投薬や通院が必要なコばかりなので、毎日のケアや医療費はやはり大変ですが、「それを補って余りあるほどの癒しや喜びを、動物たちからもらっています」と啓子さん。

実は深澤家では以前、動物病院から引き取った犬がとても気性が荒くて人に慣れず、苦労した経験があったのだとか。啓子さんは「その点、りん坊は事前に『人懐っこい性格』という説明がありましたし、去勢手術や歯の治療も終わっていたので、安心して家に迎えることができました。性格や健康状態がわかった上で自分に合った犬を選べるのは、不幸なミスマッチを防ぐためにも、とてもいいことですね」と話していました。

「りん坊の幸せが、我が家の幸せ」

プロのペットシッターでもある啓子さんは、犬を飼いたいという人には、保護犬をすすめているそうです。「特に、高齢者や犬を飼うのが初めての人には、性格がわかった上で飼える成犬の保護犬がおススメ！」とのこと。

りん坊の後遺症がもう少しよくなったなら、一緒に旅行に出かけたいという深澤さんご



新しい家族を得た、りん坊に ONE LOVE 迷子札が贈られました。

ONE LOVEプロジェクトでは、「HOGO犬 ONEマッチングサイト」を通じて新しい家族を見つけた保護犬たち1頭1頭に、啓発につながる ONE LOVE迷子札を作りお贈りしています。犬の殺処分をなくす啓発の輪を広げる支援は ONE LOVEプロジェクトのサポーター会費によって支えられています。

一家。「りん坊はうちに来るまでに、ずいぶん苦労したはず。その分、ここでは幸せになってほしい。そして『この家に来てよかったな』って思ってくれたら嬉しいですね。りん坊の幸せが我が家の幸せですから」と話してくださいました。

まるで生まれた時からずっと深澤家にいるかのように、のびのびと暮らす、りん坊。ご家族の愛情に包まれて、とっても幸せそうな様子が印象的でした。

「HOGO犬ONEマッチング」では**現在も230頭以上の保護犬たちが、** 新しい飼い主さんを待っています。そのなかから一部紹介します。



マルクル/ウェルシュ・コーギー・ペン
ブローク/オス/8歳/8.7kg

ペット不可物件に引っ越すため飼えないと放棄され保護。他の犬が苦手、散歩中も吠えたり、犬だらけの保護シェルターでは落ち着けずそわそわしているため、早く新しい家を見つけてあげたいです。太っていたところ痩せてしまい、現在は太らせ中です。

(動物保護団体：
NPO 法人 アニマルレフュージ関西)



八雲/ラブラドル・レトリバー/
オス/7歳/22kg

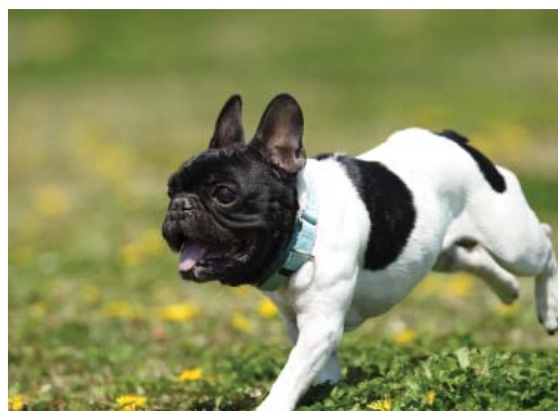
東日本大震災で被災した方が飼育困難になり、やむ負えず手放し保護されました。急な環境の変化に、まだいっばいいっばいですが一緒に生活するルールを覚えられれば、賢いので、すばらしいパートナーになると思います。

(動物保護団体：ハッピーラブズ)

うし夫/フレンチ・ブルドッグ/
オス/8歳/7.6kg

名古屋市動物愛護センターより保護。白内障で、獣医師からは右目は見えておらず左目もすりガラス越しに見える程度と言われるも、ホントに？と感じるほど普通に生活しています。譲渡範囲は、名古屋市内から約片道2時間程度。関東地区は応相談。

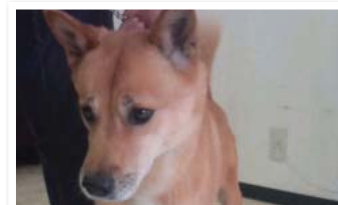
(動物保護団体：
NPO 法人 Wonderful Dogs)



うらら/雑種/メス/1歳/13kg

一歳にはなりましたがまだ幼さが残っています。甘えん坊で性格が穏やかな犬です。子犬の時に保健所に収容され、保護されました。

(動物保護団体：
NPO 法人しっぽのなかま)



ちゃま/雑種/オス/5歳/15kg

飼育を放棄されてしまい保護されました。少し怖がりな性格ですが人が好きで、健康状態も良好です。犬に対しては、相手がオスだと少しキツイ部分もあるかな。

(動物保護団体：
NPO 法人 日本動物生命尊重の会)

日本中に幸せな犬と飼い主さんを増やすマッチング WEBサイト



現在も250頭以上の保護犬たちが、
新しい飼い主さんを待っています。

「HOGO犬ONEマッチング(ほごわん)」は、飼い主さんと、新しい飼い主さんを待っている犬の縁結びを行うサイトです。私たちが目指しているのは、可哀想な犬を貰ってもらう事ではなく、日本中に幸せな飼い主さんと犬を増やすこと。これまでに『ほごわん』では、650組の飼い主さんと犬を笑顔にすることができました。

(2013年6月10日現在)

ほごわん

検索

<http://hogo-one.jp/>

ONE LOVE ACTION!

東日本大震災から2年 被災動物たちの`今、`をレポート

東日本大震災で被災した犬・猫を保護している福島県動物救護本部。

震災から2年余りがたった今、被災動物たちはどのような

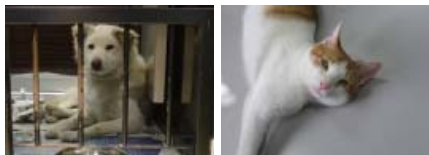
毎日を過ごしているのでしょうか。

2013年5月、ONE BRANDスタッフが福島県三春町のシェルターを訪ねました。

犬46頭、猫170頭が 今も46シェルターに

福島県動物救護本部は、震災発生直後に福島県獣医師会が中心になって設立。県内2か所でシェルターを運営していましたが、飼い主への返還や里親への譲渡が進み、保護頭数が減少したため、現在は三春シェルターのみで保護活動を行っています。

現在、三春シェルターで暮らすのは犬46頭、猫170頭。犬のうち約半数は、飼い主が判明しているものの、様々な事情で一緒に暮らすことができない犬たち。残り半数は現在、里親募集中ですが、高齢や持病を理由になかなか譲渡が進んでいないのが現状です。一方、猫たちの大半は、原発事故の警戒区域で保護され、一時は300頭近くまで増えたそうですが、譲渡が順調に進んで徐々に減っています。



トリミングのボランティア募集中!

犬たちの個室やトリミングルーム、診察室も完備している三春シェルターは、取材スタッフが

2年前に訪問した時と比べると、保護頭数が大幅に減ったせいか、犬も猫ものびのびと落ち着いて暮らしています。スタッフの渡辺美恵子さんによると「以前は犬の数が多く、3日に1回しか散歩に連れて行けなかったけど、最近は毎日連れて行ってあげられるのが嬉しい。猫にも犬にも一頭一頭名前を付け、丁寧なケアを心がけています。特に警戒区域で保護された猫は警戒心が強いので、根気強く人に慣れさせ、譲渡できる状態に順化させるよう努力しています」とのこと。ただ、人手不足は続いていて、平日は6名前後のスタッフが交代で出勤、ボランティアの手を借りながら動物たちの世話を奔走。渡辺さんは「トリマー経験のあるスタッフが1人しかいないので、シャンプーやトリミングが遅れがちに。経験者のボランティアは特に助かります」と話していました。



目標は、一日も早いシェルターの閉鎖

フードやトイレシートなどの支援物資が潤沢に届き、清潔な環境で大切にされている被災動物たちを見ていると安心しがちですが、動物

たちの「ゴール」は決してここではありません。福島県獣医師会・常務理事の島崎昌三さんは「シェルターはあくまでも一時的な保護施設。犬や猫にとっては、やはり飼い主さんと家族の一員として暮らすのが一番です。残っている犬・猫の譲渡先を探し、一日も早くシェルターを閉鎖するのが今の目標です」と話します。シェルターでは今も、随時譲渡対象の犬・猫の情報を発信中です。

●福島県動物救護本部

<http://www.fuku-kyugo-honbu.org/>

ONELOVE3.11プロジェクトに寄せられた義援金779,993円は、福島県動物救護本部に寄付しました。今後もすべての犬が家族のもとで暮らせる日を目指して支援していきます。数多くの方が被災し、飼い主が動物と一緒にいることができなくなった東日本大震災から2年以上経ち、その災害は過去のものとなっている人も多いのではないのでしょうか。しかし未だに、元の生活を取り戻すことが困難な人や動物たちが数多く存在します。

震災直後に何が起こったのか、現地の状況がどのように変化していったのか、今できることは何かを考える機会として、次回のONE LOVE ACTIONを開催します。

次回開催告知

ONE LOVE ACTION! 2013 vol.4 東日本大震災から学ぶこと ～現地で起こっていた問題を知る～



講師 イズミカワソラ / ミュージシャン

大好きな犬の、殺処分問題を知り「自分に出来ること」を探してトリマーの資格を取得し保護犬のトリミングボランティアなどを開始。東日本大震災発生時には現地で救助活動を行う。

開催概要

- 日時: 2013年8月24日(土) 14:00～16:00(受付/13:30～)
- 会場: 東京都渋谷区宇田川町33-6 T's渋谷フラッグ Room7I
- 参加費: 500円

主催: 株式会社ONE BRAND ONE LOVEプロジェクト
後援: 関東地方環境事務所

お申込み、
お問い合わせ

株式会社ONE BRAND ONE LOVEプロジェクト事務局 10:00～17:00(土日、祝日を除く)
<http://www.onebrand.jp> ☎03-5575-2363

ONE LOVE GOODS

chi^ku × ONE LOVE

Happiness カラー&リード

犬用アイテムからオーナー雑貨まで、ハッピーな気分になれるブランド『chi^ku』とのコラボレーション第3弾は、首輪とリードのセット。牛皮など天然素材をあえて使用せず、厳選した質の良い合皮を使いました。愛犬とオシャレを楽しみつつ、動物愛護にも貢献できるグッズです。
8,400円(税込)



うめ太リボンマグネット

ONE LOVEプロジェクトのマスコットキャラクター・うめ太のリボンマグネット。犬の殺処分減少を目指した啓発のリボンデザインから、うめ太のあどけない表情がのぞきます。取り外し簡単なマグネットを、車などいろいろな場所に貼って ONE LOVEの輪を広げよう。

1,890円(税込)



ONE LOVE クイッククール

真夏到来！暑い日ざしの中、愛犬が熱中症にならないか心配な飼い主さんも多いはず。少しでも愛犬が快適に過ごせるように、クイッククールを持って散歩してみても？風とミストで表面温度が5～6℃低下。プロペラはシリコン製なので安全です。

クイッククール 1,050円(税込)

クイッククール・ミニ 525円(税込)

ONE BRAND Shopping内のすべての商品は、売上の一部を動物保護団体に寄付しています。

→ ご購入・お問い合わせ



<http://www.obshopping.jp/>



03-5575-2363

※10:00～17:00 (土日、祝日を除く)



携帯はこちら

ONE LOVE NEWS



『犬を殺すのは誰か ペット流通の闇』が文庫化

AERA記者の太田匡彦氏による渾身のルポルタージュが文庫になります。動物愛護管理法改正をめぐるペット業界と政府の攻防や、「8週齢規制」が「骨抜き」にされた舞台裏、法改正後の最新状況にも焦点をあて大幅加筆されました。

●『犬を殺すのは誰か ペット流通の闇』

著：太田匡彦(AERA 記者)

定価：600円+税

発売日：2013年 7月 5日

※書籍化・文庫化された際の印税は、著者の太田氏より ONE LOVEプロジェクトに寄付いただいています。



公式facebookページがオープン

ONE LOVEプロジェクトの公式 facebook ページをオープンしました。プロジェクトの活動情報や、新しい飼い主さんを探している保護犬をピックアップしてお伝えしています。

【「いいね」ボタンを押してくださった方に、抽選でステッカーをプレゼント】

※ 2013年 8月 31日まで

皆さまからのメッセージや情報提供もお待ちしています。



ONE LOVEプロジェクト・リーフレット2013年版ができました

ONE LOVEプロジェクトの活動内容や、犬の殺処分数や譲渡数など新しい情報に更新しました。多くの人が現状を知り、幸せな犬がたくさん増えることを目指してリーフレットを配布します。

リーフレットの配布場所は、随時募集しています。

お問い合わせ：ONE LOVEプロジェクト事務局

TEL: 03-5575-2363

Mail: info@onelove.cc



愛犬とイベントにお出かけしよう

愛犬とのドライブを安全で快適にする「トヨタ ドッグサークル」が、5月 18日に愛知県の愛・地球博記念公園で開催された「介助犬フェスタ 2013」に参加しました。大型犬連れの飼い主が多いこのフェスタは、車で来場する方が多く、そんな来場者へ、愛犬と安全にお出かけできる車選びのポイントなどを紹介しました。イベントの様子は WEBサイトで見ることができます。今後も「トヨタドッグサークル」では、WEBサイトや様々なイベントで愛犬との安全で快適なドライブをご紹介します。

トヨタ ドッグサークル

検索



サプリ「犬のノニ」が寄付対象グッズになりました

国産のノニの実を保存料・添加物一切不使用でパウダーにした「犬のノニ」が、寄付対象グッズになりました。愛犬の毎日の食事にふりかけるだけで、愛犬の健康や食養に悩む飼い主さんをサポート。無料サンプルを試すこともできます。

●犬のノニ(20g)

¥1,500(税込・送料別)

● ONE BRAND Shoppingから購入すると、売上の一部が ONE LOVEプロジェクトを通して動物保護団体に寄付されます。



除菌・消臭器「イレイザー・ミスト」が寄付対象グッズになりました

お部屋全体を爽やかで快適にする除菌・消臭器「イレイザー・ミスト」は、ペットが舐めても安全な専用水を使用。空気中に浮遊する菌を強力に除菌しペットのニオイも消臭！約2ヶ月分の専用水とスプレーがセットになったスタートバックでまずは実感してみたいかが？

●イレイザー・ミスト スタートバック

¥8,150(税・送料込)

● ONE BRAND Shoppingから購入すると、売上の一部が ONE LOVEプロジェクトを通して動物保護団体に寄付されます。

できることから始めよう。

ONE LOVE プロジェクト

今年間4万頭以上もの犬が殺処分されているという現実に対し、1頭でも多くの犬たちの命を救うために、ONE LOVEプロジェクトでは動物保護団体への寄付や飼い主さんへの啓発、保護犬文化向上のための支援に取り組んでいます。

1
PROJECT

HOGO犬 ONEマッチング

日本中に幸せな犬と飼い主さんを増やすマッチング WEBサイト

犬を飼いたい人と、新しい飼い主を待っている犬の縁結びを行う。目指すのは、可哀想な犬をもらってもらうことなく、日本中に幸せな飼い主さんと犬を増やすこと。



2
PROJECT

ONE LOVE ACTION!

自分にできることを見つけるワークショップ

人と犬の明るい未来を目指して、自分にできることを知り、考え、行動(ACTION)を起こしたい人向けのワークショップ。犬や動物を取り巻く事情、海外情報を知るプログラムを、環境省後援のもと開催している。500円で参加できる。



3
PROJECT

ONE LOVE GOODS

お買い物でサポート

売上の一部が動物保護団体への寄付になり、身に付けることで啓発にもなるグッズをWEBサイトで販売中。犬を飼っている人も飼っていない人も啓発や寄付で貢献できる。



4
PROJECT

WEBで啓発・支援できるコンテンツもいっぱい

●ONEクリックドネーション

ONEクリックするたびに、10円が協賛企業から寄付される。

●Yahoo!から寄付

ポータルサイトYahoo!で溜まったポイントや、保護犬の壁紙購入費を寄付にできる。

●ONE LOVEインタビュー

著名人の皆さんの、人と犬を想うONE LOVEなメッセージをいつでも読むことができる。

5
PROJECT

ONE LOVE サポーター

1,000円から始める寄付・支援



携帯はこちら

誰でも貢献できる月1,000円からのサポーター制度。保護犬をレスキューする動物保護団体への寄付や啓発支援になる。『ONE BRAND』マガジンやサポーター会報誌を隔月でお届け。



6
PROJECT

サポートパートナー企業・ショップ

寄付グッズの製作や、啓発イベントの開催など、サポートパートナー企業を募って長期的でより大きな啓発・支援につながる企画を実施。カフェやショップなどパートナーショップも募り、ONE BRANDマガジンの設置配布を通して全国に啓発している。



ONE LOVEプロジェクト寄付先動物保護団体

一定の審査を行なった信頼のおける動物保護団体が、長期にわたり活動に専念できるように、定期的な寄付支援をしている。

- NPO法人 ARK (アニマルレフュージ関西) <http://www.arkbark.net/>
- 石川ドッグレスキュー <http://dogrescuejp.net/>
- NPO法人 しっぽのなかま <http://shippononakama.kuronowish.com/>
- ちばわん <http://animal-note.cool.ne.jp/>
- 動物いのちの会いわて <http://www.inochinokai.com/>
- Dog Shelter (ドッグシェルター) <http://dogshelter.jp/>
- NPO法人 日本動物生命尊重の会 <http://www.npo-alis.org/>
- Happy Labs (ハッピーラズ) <http://www.happylabs.jp/>
- NPO法人 ペット里親会 <http://petsatooyakai.web.fc2.com/>
- NPO法人 Wonderful Dogs <http://www.wonderful-dogs.com/>

50音順 2013年6月末現在

「PAK(Paws Adoption かながわ)保健所の犬・猫を救う会」は活動を縮小していくため、「NPO法人保健所の成犬・猫の譲渡を推進する会」は当事務局への活動報告を行う時間がないことから、寄付辞退の申し出があり、2013年3月末日をもって受け付けました。

※2013年4月～2013年5月

2008年4月22日～
2013年5月末の累計

寄付金
総額

1,068,535円

30,349,665円

お問い合わせ

株式会社 ONE BRAND
ONE LOVEプロジェクト事務局



03-5575-2363



<http://onelove.cc/>

ONE LOVE プロジェクト

検索

環境省
コラム Vol.2

Change Japan!

あたらしい動物愛護管理法

7年ぶりに、2013年9月から改正される動物愛護管理法。これからの日本で、どんな法律が動物を守るのか、あなたは知っていますか？

動物取扱業者への規制を強化

ブリーダーやペットショップなどの動物取扱業は、平成17年の法改正で届出制度から登録制度に変わりましたが、その後も業者による適正でない飼養がいくつもみられ、特に幼い犬や猫に対する扱いが問題視されてきました。そのため、登録制は維持しつつも、犬や猫の販売を行う「犬猫等販売業者」の規制が大幅に強化されました。

犬や猫の販売業者への規制

幼い犬猫などの健康と安全を守る体制の整備や販売が難しい犬猫の取扱いを定める計画、個体ごとの記録作成、飼養

状況の定期報告などが、業者に義務づけられました。これらは都道府県がチェックし、不適正な取扱いが疑われる場合には改善への取り組みが求められます。また、業者は獣医師との連携や終生飼養が必要であることも明記されました。

非営利に動物を取扱う者の規制

これまでは営利性を持つ者のみ動物取扱業として規制してきました。しかし新たに、非営利で動物を取扱う者も、飼養施設を持って一定頭数以上の動物を飼養する場合は届出が義務づけられました。シェルターを持ち犬猫の保護活動を行なう動物保護団体などが該当します。



詳しくはホームページへ

動物の愛護及び管理に関する法律の一部を改正する法律

<https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/>

ONE BRANDマガジンを設置・配布してくださる

パートナーショップを募集中!



ONE LOVE 賛同設置店

マガジンの配布にご協力いただき、一緒に ONE LOVEな精神を広げていってくださる店舗さまはこちら!

内容

- ONE BRANDマガジンを毎月 50冊お届け
- 保護団体への寄付
- ONE LOVE啓蒙費

特典

マガジンや WEBで店舗名の記載や店舗のご紹介をさせていただきます

年会費

36,000円

協力設置店

ONE BRANDが好き! や ONE LOVEプロジェクトを応援したいから、まずはマガジンから...という店舗さまはこちら!

内容

ONE BRANDマガジンを毎月 50冊お届け

年会費

4,800円

● パートナーショップについてのお問い合わせ・お申込みは

<http://www.onebrand.jp/> one@onebrand.jp



他にも売上の一部が寄付になる ONE LOVE オリジナルグッズの販売や、募金箱の設置など、さまざまな形でパートナーショップとして応援していただいています。

ONE BRAND vol. 46